



米子市長定例記者会見資料	
令和2年4月3日	
担当課 (担当者)	防災安全課 (田中)
問合せ先	0859-23-5339

報道機関各位

非常用発電機の整備完了について

1 設置目的

大規模災害により、電力供給が途絶した場合に備え、本庁舎において災害対策本部機能など初動に必要な最低限の電力の確保をするために整備するもの。

2 概要

(1) 発電機等の設置場所

- 非常用発電機本体・燃料タンク（198L）：本庁舎東側2階屋上
- 燃料タンク（5,500L）：地下駐車場内

(2) 非常用発電機の性能

- 運転時間 72時間以上（連続）
- ディーゼル発電装置 出力208kW、260KVA
- 燃料：A重油

(3) 主なカバーエリア

- 4階 情報政策課サーバー・401会議室・402会議室
- 3階 市長室・副市長室・第2応接室・秘書広報課・職員課・調査課
防災安全課（無線室を含む）・メール室・電話交換室・市政記者室
- 2階 都市整備課・道路整備課・202会議室・電算室
- 1階 宿直室
- その他 全階の階段、廊下、トイレの照明

(4) 設置時期

令和2年3月末に設置完了

(5) 事業費

- 設置工事請負費：108,629千円
- 監理委託料：2,750千円 計 111,379千円

(6) 耐災害性について

- 耐震性については、発電機設置エリアについて調査の結果、問題なし。
- 水害については、市役所周辺では最大浸水深0.5m～3mが想定されるため、発電機の設置場所を2階以上とした。
オイルタンクは地下駐車場に設置するが、タンク内にポンプが内蔵されているため、水没しても安定した燃料供給が可能となっている。